

都市再生整備計画 事後評価シート

ふじおかちいき かく ちく
藤岡地域核地区

令和4年3月

愛知県豊田市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名		豊田市		地区名		藤岡地域核地区			面積		8.76ha	
交付期間	平成28年度 ～ 令和2年度		事後評価実施時期		令和3年度		交付対象事業費		516.0	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名													
		基幹事業	道路(市道藤岡田中二反田線)、高次都市施設 地域交流センター(藤岡交流館整備事業)												
		提案事業	地域創造支援事業:バスターミナル整備事業、まちづくり活動推進事業:朝市等によるにぎわい創出事業												
	当初計画から削除した事業 新たに追加した事業	事業名													
		削除/追加の理由													
		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響													
		基幹事業	地域生活基盤施設(駐車場整備事業)												
提案事業	事業活用調査(事業効果計測調査)														
基幹事業	-														
提案事業	-														
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
	変更	-													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	支所・交流館の利用者数	人/年	84,000	H26	100,000	R2	-	43,699	×	あり	本事業で整備した藤岡交流館は、行政サービスの利便性の向上や、地域のふれあいと賑わいの創出を図る拠点として期待されていることが、住民アンケートで確認できた。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにイベントや集会が中止になった影響もあり、目標達成には至らなかった。	R6.3		
											なし	●			
	指標2	バスの利用者数	人/年	80,000	H26	85,000	R2	-	50,428	×	あり	新たなバスターミナル等の交通施設は、安全性・快適性の満足度が高いことが、住民アンケートで確認できたものの、新型コロナウイルス対策(移動自粛)の影響等により、目標達成には至らなかった。	R6.3		
											なし	●			
	指標3	まちづくりイベントへの参加者数	人/年	7,000	H26	17,000	R2	-	829	×	あり	藤岡交流館の整備によって、まちづくりイベントが開催できる拠点が創出されており、住民アンケートでも、自主的な活動意向、参加意欲が高いことが確認できた。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止となったイベントも多く、目標達成には至らなかった。	R6.3		
										なし	●				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	地域の魅力づくり・地域活力創出への期待度	点				-	4.0				藤岡交流館は、地域の新たな拠点施設として、住民が様々な形で交流できる機能等に留意し整備された。その結果、多様な講座やイベントの開催、地域住民の作品展示などの活用が図られている他、住民アンケートでも「地域の魅力づくり・地域活力創出」に資する施設として期待する結果が得られたと考えられる。	-		
	その他の数値指標2	新たな拠点施設での活動意欲	点				-	3.5				藤岡交流館は、地域住民の自主的な活動の活性化に留意して、イベントの開催やオリジナル商品の販売など趣味やアイデアを活かした様々な活用が図れる施設としている。このような場合は、住民ニーズに合致している点があり、「イベントや販売などの活動をする場としての住民の利用意欲」がある結果になったと考えられる。	-		
	その他の数値指標3	施設利便性の満足度	点				-	4.1				地域の人が安全で集まりやすい(利便性の高い)拠点として、藤岡支所・藤岡交流館の合築やバスターミナル整備、歩行者の安全性を確保する道路・橋梁整備等を進めた結果、住民アンケートで施設利便性の高い満足度が得られる状況に至ったと考えられる。	-		
その他の数値指標4	イベント等への参加意欲の向上	点				-	3.7				地域の拠点施設として整備した藤岡交流館及びその周辺施設は、多様な講座や、駐車場を活用したマルシェ等が開催できるとともに、利便性に配慮して整備を行っている。その結果、藤岡交流館及びその周辺でのイベントが開催された場合に、住民のイベントへの参加意欲の向上が確認できる結果になったと考えられる。	-			
4)定性的な効果発現状況	本事業で整備した交流館(駐車場)について、地域住民主体による新たな地域活性化イベントの場として活用されたり、地域を巡るイベントの起点として活用されたりする等、地域の拠点として旧支所・旧交流館では無かった活用が図られる効果が発現されている。具体的には、支所敷地を賑わいイベントの会場として使用する、ウォーキングイベントの出発地点として活用される等が挙げられる。														
5)実施過程の評価			実施内容					実施状況			今後の対策方針等				
	モニタリング	【交付期間中の計画の管理について】					都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	今後も、事後評価で設定した「まちづくり方策」等について、進捗状況の確認や実現に向けた取組を実施する。				
		中間評価・モニタリングなどを実施し、事業の進捗状況や成果を把握し、事業の円滑な執行を管理する。					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
	住民参加プロセス	【賑わい創出事業の企画検討】					都市再生整備計画に記載し、実施できた				藤岡支所・藤岡交流館(駐車場を含む)の施設機能を最大限に活用したイベントの創出や、住民や事業者等による活用の仕組みを構築する。				
		事業のコンセプト等の骨子から、地域住民が参画する実行委員会で企画検討を行い、当日運営も実行委員会で実施する。					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			●					
持続的なまちづくり体制の構築	【事業終了後の継続的なまちづくり活動】 事業期間終了後も継続的なまちづくり活動が行われるよう、観光協会やコミュニティ会議等と連携を図り、地域のふれあいや賑わいづくりに向けた事業を企画・実施して行く。その他、地域を内発的に活性化できる自主活動団体等を育成しながら、自立したまちづくりを推進していく。					都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	・新たな拠点施設等における、地域住民の自主的な活動の活性化支援を行う。 ・藤岡支所・藤岡交流館(駐車場を含む)の施設機能を最大限に活用したイベントの創出や、住民や事業者等による活用の仕組みを構築する					
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

藤岡地域核地区(愛知県豊田市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 ふれあい豊かで賑わいのあるまちづくり		支所・交流館の利用者数	人/年	84,000	H26	100,000	R2	43,699	R2
小目標1 自ずと多くの人が集まる魅力ある場づくり		バスの利用者数	人/年	80,000	H26	85,000	R2	50,428	R2
小目標2 人の集まりやすい交通環境づくり		まちづくりイベントへの参加者数	人/年	7,000	H26	17,000	R2	829	R2
小目標3 地域活力創出に向けたソフト事業の実施									

藤岡交流館

【藤岡交流館の設備一覧】

○ 多目的ホール(200名) ○ ふじおかホール(90名)

○ 会議室 ○ 調理室・工芸陶芸室 ○ 和室

○ 図書コーナー(蔵書数約2万冊) ○ ギャラリーふじおか

【外観】

【内観】

【藤岡交流館での講座】

やる！MYふじおか シャキシャキ健康事業

素敵な本箱作り 日曜大工教室

パンリースde Merry Christmas

間伐材で作る 素敵なスツール

当該地区

名古屋市

豊田市

愛知県

周辺図

○ 提案事業
朝市等による賑わい創出事業

■ 基幹事業
高次都市施設 地域交流センター
藤岡交流館

○ 提案事業
バスターミナル整備事業

○ 関連事業
藤岡支所整備事業

○ 関連事業
藤岡支所整備事業

○ 関連事業
ふじおかおいでん夏まつり
藤岡地区スポレク大会
藤岡地区防災交流フェスタ
藤岡地区ふれあいフェスタ
新成人を祝う会
飯野まちづくりフェスタ
藤岡飯野地区夏まつり

■ 基幹事業
道路事業
市道藤岡田中二反田線

○ 関連事業
藤岡飯野町交差点改良事業

凡例

■ 基幹事業

■ 提案事業

○ 関連事業

藤岡地域核地区
A=8.76ha

縮尺 1 : 2500

ふじおかプレミアム

バスターミナル・バス待合所

【整備前】

【整備後】

〔バスターミナル〕

〔バス待合所〕

まちの課題の変化

【達成されたこと】

・商業利用を可能とする藤岡交流館を整備し、商業者の進出、起業意欲、地域住民の自主的な活動意欲を高める環境を整えた。

・それぞれ独立して立地していた藤岡支所・交流館の合築や利用者に配慮した整備により、行政サービスの利便性の向上や、地域のふれあいと賑わいの創出を図る拠点を整備した。

・バスターミナルの整備により、交通結節施設の安全性・快適性の向上を図った。

・アクセス道路の整備により利便性やアクセス性の向上を図った。

・地域住民が主体となってまちづくりイベントが開催できる拠点(藤岡交流館)の整備を図った。

【残された未解決の課題】

・商業者の進出、起業意欲等を高める環境を整えたものの、人口定着や集積、商業者の進出は未だ十分に進んでおらず、事業効果の波及は十分でないといえる。

・中核拠点施設を整備したものの、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにイベントや集会が中止になった影響もあり、利用者数が増加していない状況にある。

・交通環境整備によって利用者の満足度が向上しているものの、新型コロナウイルス対策(移動自粛)の影響等もあり、バス利用者が増加していない状況にある。

・新たなソフト事業も展開されてきているものの、新型コロナウイルスの影響により、多くのまちづくりイベント等が中止となり、イベント参加者数は目標値に達していない状況にある。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

【効果を持続させるために行う方策】

・持続的に、「地域の魅力づくり・地域活力創出」に資する施設とするための藤岡交流館及び関連施設の適切な維持管理を図る。

・バスターミナル等の適切な維持管理により交通結節施設の利便性を維持する。

【改善策】

・人口の定着や集積、商業者の進出を促進し、市場性の醸成を図る。

・拠点施設として整備された藤岡交流館について、まちづくり活動の拠点として利活用を促進する取組を実施する。

・高齢化に対応し、将来的に持続可能な公共交通の見直しを図り、公共交通の利用を促進する取組を実施する。

・地域住民主体のイベント開催等の側面支援・後方支援を図る。